

滝野地域小中一貫校の開校1年延期 ～令和10年4月春に開校します～

滝野地域小中一貫校の開校時期は、平成28年1月の定例教育委員会において、令和9年度の開校としていました。滝野地域小中一貫校の工事形態は、先行している社地域小中一貫校と同様に、既存校舎を活用し、必要な校舎を増築します。社地域では、増築棟校舎の本体工事に2年、既存校舎である社中学校校舎の長寿命化改修工事に1年が必要（下の図参照）となり開校時期を1年延期したことから、滝野地域においても、令和4年度の建設基本計画において、本体工事、長寿命化改修工事の工事工程を検討し、予定どおり令和9年4月の開校が望ましいかどうかの判断が必要でした。



令和9年4月開校の場合、本体工事と長寿命化改修工事を令和7年度から令和8年度の2箇年で行わなければならない、下記のような**デメリット**が生じます。

- ①本体工事と長寿命化改修工事を並行して施工する必要がある、過密工程による既存校舎の利用制限が生じ、仮設校舎が必要となり、学習環境が悪化する恐れがある。
- ②仮設校舎建設用地は、グラウンド北側の取得予定用地及びグラウンド用地北側の一部となることが想定され、グラウンドの利用規制が生じ、体育授業や部活動等の学校生活に大きな影響が出る。
- ③工期を優先するため、多くの工事が並行して行われることから、多くの資材・作業ヤードを確保する必要が生じ、校地の利用や学校生活に多くの制限が生じる。
- ④仮設校舎建設によって事業費が増大する。

滝野地域小中一貫校建設工事は、社地域と同様に、中学生が学校生活を送る中での工事となることから、順序良く、学校生活に支障をきたすことのないような工事工程を組む必要があります。

以上のことを踏まえ検討した結果、3箇年の工事工程を組むことにより、下記のような**メリット**があります。

- ①工期を3年と長く確保することで、既存の校地の利用制限を最小限にでき、学校生活への影響を少なくできる。
- ②工事の工区分が明確にできるため、中学生の安全を確保しやすい。
- ③仮設校舎が不要で、事業費の増大を抑制できる。

現在工事中の社地域小中一貫校建設工事では、工事による学校生活の影響を極力抑え、中学生の安全を確保しながら工事を進めることができていくことから、滝野地域においても令和9年4月の開校をめざした2箇年の工事工程を組むより、できる限りの中学生の学習環境の確保と安全性を一番に優先すべきであると判断し、建設基本計画において令和10年4月の開校が適切であると判断しました。

5月29日の定例教育委員会において、令和10年度開校が決定されました。

今年度、滝野地域小中一貫校開校準備委員会では、基本設計や通学方法について協議します。また、滝野地域制服等検討部会を立ち上げ、制服や体操服のデザインを検討していきます。

滝野地域小中一貫校建設予定地をお知らせします

滝野地域小中一貫校は、滝野中学校周辺敷地を活用して建設予定です。建設にあたっては、建物の耐力度調査を実施し、改修して存置する建物は、既存校舎棟（滝野中学校校舎）、技術校舎棟、さんあいセンターの3棟とする予定です。

建築面積に対して必要な敷地面積を、東条・社地域小中一貫校の整備事例を参考に検討した結果、57,000～61,000㎡程度の敷地面積が必要であると判断し、現在の滝野中学校の敷地面積約32,500㎡、市所有地約11,700㎡に加えて、周辺土地約14,300㎡を取得し、右の図の**赤枠**で囲った計画敷地面積約58,500㎡で小中一貫校を整備します。



【滝野地域小中一貫校建設予定地】

3つの「あい」を大切にした小中一貫教育 ～「チーム滝野」で子どもを育みます～

滝野地域では、滝野中学校、滝野東小学校、滝野南小学校の3校が、開校を見据えて「ともに学び、たくましく、夢に挑む子どもの育成」という小中一貫教育の目標のもと、同じビジョンで子どもを育んでいます。滝野地域は、これまで「であい」「ふれあい」「かたりあい」という3つの「あい」を大切にしてきた地域です。滝野地域の小中一貫教育も、3つの「あい」からうまれる「つながり」を大切にします。

「であい」では、ふるさと学習「かとう学」で、地域の「ひと」「もの」「こと」との出会いを充実させます。南小学校区には「天下みぞ」が、東小学校区には「闘竜灘」があり、先人の勇気ある挑戦と知恵を学ぶことができます。これらの学習を継続していくことで、ふるさと滝野に誇りを持つ子どもを育てていきます。

「ふれあい」では、開校後は、学校運営協議会を設置した学校「コミュニティ・スクール」として出発し、滝野地域で大切にしてきた地域の人とのつながりを活性化し、子どもの学ぶ意欲を高めます。また、開校までに小中交流、小中交流を計画的に実施することで、大きな集団の中でも委縮することなく、自分の良さを発揮できる子どもを育てていきます。

「かたりあい」では、子ども同士が学びあう機会を大切にしつつ、9年間の学びの系統性と連続性を意識した「わかる授業」を大切にします。現在、小中学校間で出前授業を実施することで、専門性を生かした授業づくり、子どもの実態を踏まえたきめ細かな授業づくりを推進しています。滝野地域の教職員が、小中一貫教育の視点を大切に、「チーム滝野」で、子どもを育んでいます。

